

産業建設常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和7年10月29日（水曜日） 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

愛知県常滑市役所

3 出席委員（6名）

委員長	塩田 智明	副委員長	渡邊 清美
委員	菅原 福治	委員	金子 透
委員	長谷川 る美	委員	渡邊 俊一

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（4名）

常滑市建設部水道課	課長	小西 権市
常滑市建設部水道課	主事	小西 脩太
常滑市議会	副議長	中村 崇春
常滑市議会事務局	主任	瀬木 健太

6 事務局職員出席者（1名）

富谷市議会事務局	次長	相澤 正人
----------	----	-------

7 調査項目

水道分野におけるスマートメーターの導入促進について

導入には、国の動向を注視することが必要

国が推進している、上下水道ＤＸ推進事業、スマートメーター導入について愛知県常滑市に調査しました。

常滑市の導入の経緯として、空港開港に伴い、セキュリティ対策で立ち入り制限のある空港及び中部臨空都市(空港島)の検針のため導入した経緯があり、電子メーター口径が５０mm以上とし選定していることから、工場、商業施設、宿泊施設、公共施設等の水利用量の多い施設を中心に導入がされています。

検針データが２４時間いつでも取得可能になり、より細かい水需要の把握が可能になり、今後はスマートメーターで得られたデータを他の業務への活用、利用者へのデータの提供等も考えられているとのことです。

課題として、

- ・一般家庭に導入での費用的課題(メーター調達、交換に費用が多大)。
- ・導入プロセスの検討等に多くの時間が必要。
- ・通信エラーによりデータの把握が出来ない場合がある。

本市として、今後、工業団地等の検針が広範囲になる地域への導入への考え等も必要だが、国のスマートメーター導入に向けた取り組み、導入済み市町村の今後の動向を注視し、本市に合った導入仕法を考える必要があると思われます

令和7年10月29日

委員長 塩田智明
